

## 学習指導方針（スクールポリシー）

石川県立小松明峰高等学校

### 【教育目標】

- ① 知性を磨き教養を高め、自分の持っている様々な能力を最大限に伸張できる人間の育成を図る。
- ② 自主自律の気概に富み、良識ある判断力を備え、人を思いやる心豊かな人間の育成を図る。
- ③ 健康や体力の増進、文化の創造に積極的に取り組む活力ある人間の育成を図る。
- ④ 自己と、その属する社会に誇りを持ち、安全で快適な環境づくりを進める人間の育成を図る。

### 【自校の現状・課題】

- 生徒の基本的な生活習慣は確立しており学習意欲も高い。また、指示された課題にも真面目に取り組み、家庭学習の習慣も概ね確立している。
- アドバンスクラスの導入後、習熟度別授業や週末課題、到達度テスト等の取り組みにより、進学実績は着実に成果を上げており、地域社会からも進学校としての評価を得ている。
- 従来は、知識・技能の定着を重視する習得型授業が中心であったが、今後は知識・技能を活用して論理的思考力や表現力を育成する探究型の学習指導も展開し、生徒の主体的な学びを促す必要がある。

### 【地域等からの要望】

- 地域社会や保護者からは、大学進学に対応できる学力を生徒に身につけさせ、将来の進路実現に貢献することが求められている。
- 卒業生の多くが地元企業の第一線で活躍しており、今後も、地域社会の中核となる人材を輩出することが求められている。

### 【目指す生徒像】

- ① 将来の目標を見定め、その目標の実現に向け、生涯にわたって主体的に学び続けることのできる生徒
- ② 心身共に健康であり、社会の変化にたくましく対応し、未来を切り拓くことのできる生徒
- ③ 周囲の人と良好なコミュニケーションを築き、協働して、地域社会に貢献できる生徒

### 【学習指導方針（スクールポリシー）】

#### （１）主体的な学びを促す学習指導の展開

授業においてペア学習やグループ学習などの協働的学習や、自らの意見や考えを文章にまとめたり、発表する機会を効果的に取り入れるなど、生徒一人一人が能動的に思考・判断し表現する学習指導を推進する。また、社会との関わりの中で、高校生として学ぶ意義を考えさせるため、地元企業や大学、地域社会との連携を積極的に進める。

#### （２）探究型学習の実践

今後の大学入試改革に向け、知識・技能の習得に加え、能動的にそれらを活用させる探究型学習を計画的に取り入れ、論理的思考力の育成を進める。特に、アドバンスクラスの授業においては、発展的な内容も取り扱うとともに、探究型学習の比重を高める。また、探究型学習の指導において、アクティブラーニングの手法やICT機器の効果的な活用を推進する。

#### （３）３年間を見通した学習指導

これまでの文武両道・生活指導の方針は堅持した上で、高校３年間の学習指導における各教科間の連携・協力を積極的に進め、教科横断型の総合的な学力の向上を図り、本校教育活動全体として、心身共に健康で、これからの社会の変化にも対応できるたくましい生徒の育成を目指す。